

二〇二五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

◎設問は〔一〕と〔二〕があります。両問とも解答しなければなりません。解答はすべて解答用紙に書きなさい。

〔一〕左の【A】～【D】から問題の一つを選んで解答しなさい。ただし、あなたの研究分野が古典文学の場合は【A】を、近代文学の場合は【B】を、情報出版学の場合は【C】を、日本語学の場合は【D】を、かならず選択しなければなりません。

【A】左の文章Ⅰは、『建礼門院右京大夫集』の一節です。作者が、かつて仕えた建礼門院に会うために大原を訪れた場面です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

Ⅰ

女院、大原におはしますとばかりは聞き参らずれど、さるべき人に知られでは参るべきやうもなかりしを、深き心をしるべにて、わりなくてたづね参るに、やうやう近づくままに、山道のけしきより、まづ涙は先だちていふかたなきに、御徳のさま、御すまひ、事がら、すべて目もあてられず。昔の御ありさま見参らせざらむだに、おほかたの事がら、いかが事もなめならむ。まして、憂うつつともいふかたなし。秋深き山おろし、近き木末に響きあひて、かけひの水のおとつれ、鹿の声、虫の音、いづくものことなれど、ためしなき悲しさなり。都は着の錦をたちかかちてさぶらひし人々、六十余人ありしかど、見忘るるさまにおとろへたる墨染めの袴してわづかに三四人ばかりは残りしはる。その人々にも、さてもやとばかりぞ、われも人もいひいでたりし。むせぶ涙におぼれて、言も續けられず。

今や夢昔や夢とまよはれていかに思へどうつつとぞなき

A あとぞ見し昔の雲の上の月かかる深山の影ぞ悲しき

\*女院 建礼門院。平清盛女。高倉天皇中宮。出家後、大原寂光院に入った。

\*大原 現在の京都市北東部にある地名。周囲を山々に囲まれ、遁世者が多く入る隠棲の地であった。

問一 傍線部①「大原におはしますとばかりは聞き参らずれど」を品詞に分けて、品詞名・活用形・意味を記しなさい。

問二 傍線部①について、品詞に注意しながら現代語訳しなさい。

問二 波線部アイウの主語を答えなさい。

問三 傍線部②「いづくものことなれど、ためしなき悲しさなり」とありますが、どういうことが、わかりやすく説明しなさい。

問四 傍線部③「見忘るるさまにおとろへたる墨染めの袴」とは、誰のどのような姿ですか。わかりやすく説明しなさい。

問五 和歌Aの「昔の雲の上の月」「かかる深山の影」は比喩ですが、それぞれ何を比喩していますか。説明しなさい。

問六 建礼門院が大原に入った背景について、知っていることを述べなさい。

問七 左のⅡは、『建礼門院右京大夫集』の一節です。これを、一行文字数、行数も元のままに、漢字は漢字に、仮名は仮名に翻字しなさい。

Ⅱ

女院、大原におはしますとばかりは聞き参らずれど、さるべき人に知られでは参るべきやうもなかりしを、深き心をしるべにて、わりなくてたづね参るに、やうやう近づくままに、山道のけしきより、まづ涙は先だちていふかたなきに、御徳のさま、御すまひ、事がら、すべて目もあてられず。昔の御ありさま見参らせざらむだに、おほかたの事がら、いかが事もなめならむ。まして、憂うつつともいふかたなし。秋深き山おろし、近き木末に響きあひて、かけひの水のおとつれ、鹿の声、虫の音、いづくものことなれど、ためしなき悲しさなり。都は着の錦をたちかかちてさぶらひし人々、六十余人ありしかど、見忘るるさまにおとろへたる墨染めの袴してわづかに三四人ばかりは残りしはる。その人々にも、さてもやとばかりぞ、われも人もいひいでたりし。むせぶ涙におぼれて、言も續けられず。

二〇三年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

【B】左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(伊藤整『近代日本の文学史』より)

- 問一 傍線部①「戦前からの私小説」のうち一作品の作者名とタイトルを記し、その作品の梗概を記しなさい。
- 問二 傍線部②「戦後さらに発展して『風俗小説』と呼ばれる」とありますが、一九五〇年に『風俗小説論』(河出書房)を発表した文学評論家の名前を記しなさい。
- 問三 傍線部③「自然主義文学にある身辺的写実性と現世離反性」について、作品名を例として挙げながら具体的に説明しなさい。
- 問四 傍線部④「硯友社」に所属した作家三名の名前と、彼ら硯友社の活動の拠点となった雑誌の名前を記しなさい。なお、それぞれすべて漢字で記すこと。
- 問五 傍線部⑤「昭和初年のモダニズム文学」について、知るところを述べなさい。
- 問六 傍線部⑥「マルクス主義文学」について、知るところを述べなさい。なお、ここではマルクス主義文学とプロレタリア文学を同義と見なして解答してもかまわない。

二〇三五年 大学院(修士課程) 入学試験問題

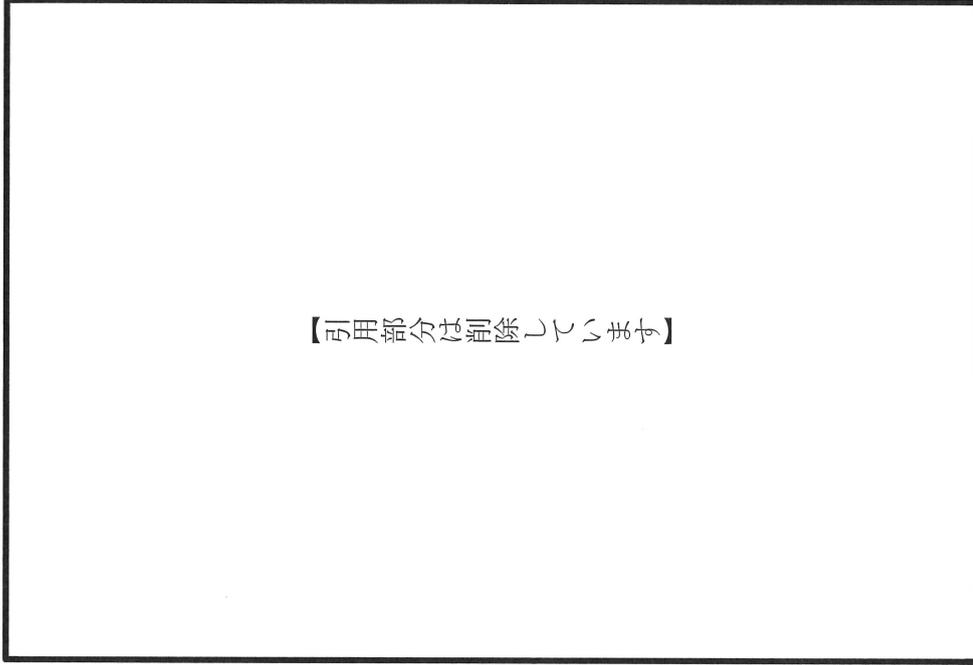
(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名: 専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

【C】 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



(小笠原恭子『都市と劇場 中近世の鎮魂・遊楽・権力』(平凡社選書)による)

問一 傍線部①「伊原青々園」は人名です。よみを記し、この人物について知るところを述べてください。

問二 傍線部 a ㄱ e の語のよみをひらがなで記しなさい。

問三 ( A ) には、関根貞誠の著書で、稿本は関東大震災で焼失しましたが、大正期に珍書刊行会・演芸図書同好会によって出版されたため、全体を知ることのできる著作の名称が入ります。一九八三年に国立劇場が「歌舞伎資料選書」のひとつとして編集・再刊した際の書名を記しなさい。

問四 ( B ) には、歌舞伎の創始者とされる芸能者の名が入ります。その名を記しなさい。

問五 傍線部②「江戸における芝居町」とありますが、江戸時代の江戸で公許を受けた、演劇の劇場の興行体制について知るところを述べてください。

問六 傍線部③「勧進興行」とありますが、これは中世、とくに南北朝以降しばしば芸能で行われるようになる興行の形態です。これについて知るところを自由に述べてください。

# 二〇二五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名: 専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

【D】 次の各問に答えなさい。

問一 次の①～④の単語について、一般に日本語で用いられるものに相当する音声記号を書きなさい。

- ① 無声両唇摩擦音    ② 有声両唇鼻音    ③ 無声歯茎摩擦音    ④ 有声歯茎閉鎖音

問二 次の①～⑤の用語について、例を挙げて説明しなさい。

- ① 連声    ② 泉音    ③ 語基    ④ 格助詞    ⑤ 可能動詞

問三 次の①～④について、説明しなさい。

- ① 「連声態」と「共時態」  
② 大槻文彦の日本語学の業績  
③ 上代特殊仮名遣い  
④ 『和英語林集成』

# 二〇二五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名: 専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

(二) 左の①～⑧の中から三つの項目を選択し、それぞれについて論述しなさい。そのうち二つは、あなたの研究分野の項目をかならず選択しなさい。解答にあたっては、選択した項目の番号を冒頭に明記しなさい。

- ① 【古典文学】 平安時代前期の日記文学
- ② 【古典文学】 鴨長明とその作品
- ③ 【近代文学】 言文一致体
- ④ 【近代文学】 無頼派(新戯作派)
- ⑤ 【情報出版学】 唐話学と書肆
- ⑥ 【情報出版学】 合巻
- ⑦ 【日本語学】 熟字訓
- ⑧ 【日本語学】 江戸時代の蘭学が日本語学に与えた影響